

ミヤマカワトンボ雄の display と雌の潜水産卵

朝比奈正二郎・枝 重 夫

Courtship display and submerged oviposition of *Calopteryx cornelia* Selys (Odonata, Calopterygidae)

By Syoziro Asahina and Shigeo Eda

ミヤマカワトンボの成熟した♂は静止する際に、写真上に示すように、腹部8節以下を斜め上に曲げることがある。これは♀に対する性的な display とされている。又♂は時に、♀が産卵行動に入る前に、その近くの水面に落ち2~3秒浮かぶ行動を見せることがある。この際は前翅を体の側面につけ、後翅の上面を下に向けて水面に接する。このあとで♀の産卵中は近くの岩の上などに静止していることが多い。

写真下は♀が潜水して、水中の杉の落葉に産卵しているところである。翅の前半部が水面より出て、そのまわりは表面張力のため漏斗状に凹んだ水面を作っている。♀は浮力に抵抗して植物にしっかりと掴まって直接どンドン水中に侵入する。勿論総べての♀が必ずしも潜水産卵を行うのではなく、適当な産卵物があれば普通の植物組織内産卵をする。一般に、ムカシトンボを除いて、ほとんど総べての蜻蛉は後退しつつ産卵するが、ミヤマカワトンボではこの点一定せず、前進も後退もするようである。産卵が終れば簡単に水面に浮かび上つて、すぐ飛び立つことができる。

写真は1960年8月8日筑波山で枝が撮影したものである。

*Calopteryx cornelia* Selys is a beautiful mountain stream dweller restricted to Japanese islands. As shown in the upper picture a mature male insect takes an attitude of courtship display bending the abdominal end upward, which attitude has been known among the other Calopterygids. Sometimes he descends on the water surface and floats for a few seconds.

Lower picture is the underwater oviposition of the same species. Note the distal half of the wings left on the water surface. This type of egg-laying is rather unusual, and, after oviposition the insect easily floats on the water and can instantly take flight.

The photos are taken by S. Eda, on Aug. 8, 1960, on Mt. Tsukuba, Ibaraki Prefecture.